

肢体不自由のお子さんの避難計画はできていますか？



車椅子利用や装具・松葉杖等を利用している場合、移動に時間がかかります。階段の移動が必要な場合もあります。肢体不自由児の避難や避難訓練の実施方法について、以下のような相談が寄せられています。

「車椅子を利用しているので、避難には複数の教員で当たらなければなりません。」

「避難計画はありますが、学校全体の避難計画の中に組み入れられていないので、実際に誰が応援に来てくれるかと考えると不安です。」

「危険なので、学校の避難訓練では見学をさせています。車椅子での避難を、実際には練習したことがありません。」

「装具を付けていて移動に時間がかかります。他の児童生徒が避難する中、危険がないように避難の順番や経路を検討しています。」

学校の避難計画の中に、移動に支援が必要な児童生徒の避難計画は組み込まれていますか？

移動に支援が必要な児童生徒の避難計画を検討しようとする、「避難方法はどうか」「緊急時に誰が避難支援者になれるのか」等、難しい状況が見えてきます。

また、障害の状態や学校の施設・設備等、学校の状況に合わせた避難計画が必要です。

避難計画検討に関するコンサルテーションや避難方法の研修を実施しています。

お気軽にご連絡ください。各学校の検討の参考になれば幸いです。

【コンサルテーションの内容(例)】

避難計画を検討する際に必要な観点の提示

実際の避難計画で不安な部分についての検討

様々な避難方法についての提案

【避難方法の研修内容(例)】

車椅子での階段昇降・担架やおぶいひもを使った避難等

*避難計画につきましては、消防署の助言をいただくことができますのでご検討ください。



連絡先：宮城県立拓桃支援学校支援部

TEL:022-391-6551

肢体不自由児の避難計画を検討・作成することは、合理的配慮となります。
またこのような避難計画を検討・作成しておくことは、骨折などで動けない児童生徒がいる場合の対応にもつながり、全ての児童生徒の安全に寄与します。